

## みんなのひろば

Message



市民と編集担当者とのおしゃべりコーナー「みんなのひろば」です。みなさまからいただいたメッセージを紹介していきます。今回は、前号(49号)のクイズ応募ハガキからです。

▼昨年、認知症の義母を亡くしました。一言で認知症と言っても同居していた家族にとっては、本人の言動や症状がなぜ、どうしての連続で理解できるまで時間がかかりました。こういった経験から、認知症の人をささえる家族の会等、高齢化社会でもありますし、もっともっと広めていってほしいと願っています。(40代)

日常生活で、不安を持って過ごしている人たちに元氣や勇氣をあたえる「居場所」が淡路市にたくさん生まれるために、お互い何ができるのか一緒に考えていきましょう。

▼人権の眼「緩和ケア」を知っていますか？に目が止まりました。家族が、がんかもしれないと病院で検査を受け、結果がでるまでの長い時間、とても不安でこれからどうすればよいのか悩んでいた時、初めて緩和ケアの存在を知りました。幸いがんの疑いはなくなりましたが、最後まで「自分らしく生きる」ために援助して下さる医療者がいてくださると心強く思い、不安心配が少しやわらぎました。(50代)

「緩和ケア」について私も全然知りませんでした。市内にこんな病院があると安心できますね。▼2年前まで明石に住んでいました。淡路に住んで人権広報誌が配布されて、色々な行事を知りました。11月4日の「人生フルーツ」を見に行くのを楽しみにしています。(70代)

「人生フルーツ」最後

一人になる現実を学習しました。今度、3月10日、東浦公民館で、『徘徊ママリン87歳の夏』というドキュメンタリー映画を上映します。ご参加下さい。

▼クロスワードの空欄(部分)は、横線などで消しておくと同年代の方にわかり易く、応募人数も増えるのかな。と思いました。(30代)

本当ですね。他にも、同様の意見を頂きました。検討してみます。

▼みんなの「居場所」興味深く読みました。次回を楽しみにしています。今元気な時に何かお手伝いできる事、機会があれば参加してみたいです。(60代)

今回の表紙どう思いますか？現在、市内に300人を超える外国人が暮らしています。災害時や悩み等で安心をもらえる空間が必要なのではないでしょうか。

《メッセージをお寄せください》クイズ応募ハガキ、FAXやメールでお願いします。TEL 0799-64-2521 FAX 0799-64-2565 Eメール:awaji\_jinken@city.awaji.lg.jp

### くらしのトピックス① 淡路市社会福祉協議会

#### 「社会的孤立」引きこもりについて話し合いませんか？

前号でもお伝えしましたが、社会的に孤立するケースが淡路市内でも散見されます。近年、福祉の制度は充実していますが、制度が新たにできることで、制度から漏れる人が現れるのも事実です。失業や不測の事態によって生活困窮状態に陥ることや、社会的孤立の問題は誰の身にも起こりうる可能性があるという共通認識が必要ではないでしょうか。

淡路市社協では、社会的孤立や引きこもりの問題を、本人や家族の立場で考える機会や、お互いの状況や将来への展望について話し合う機会を開催します。

★引きこもりなどの課題を考える本人・家族の会

日時 1月23日(火) 午後2時～

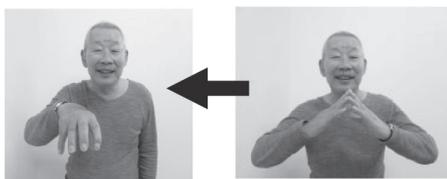
場所 淡路市社協会議室 (津名保健センター1階)

問合せ 淡路市社協 (0799-62-5214)

### ぼわんといい手話 第39回

手話は、ろうあ者が日常使用しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話やろうあ者の生活等を紹介していきます。

#### 「住所」



全指を曲げた右手を前に置く

両手で屋根の形を作る

#### ろうあ者の日常生活を知ろう⑯

子どもの小学校では、入学式や授業参観、懇談会、PTA行事等で手話通訳を依頼し、内容を把握することができました。クラスの連絡網では、電話ができないのでFAXを持っていてる人を私の前にしてもらい、連絡はFAXで受けていました。

協力：淡路聴覚障害者協会 手話サークル津名